

「双極性障害研究のための情報提供に関する情報公開文書」

特定非営利活動法人日本双極性障害団体連合会は定款（第3条）に則り、活動として双極性障害に関しての研究に参加するために、東北医科薬科大学精神科学教室に以下の通り電話相談に関する一部の情報を提供します。

研究課題名	双極性障害患者と家族等の電話相談に関する調査
提供先の機関 (情報管理責任者)	研究機関名：東北医科薬科大学 責任者職名・氏名：精神科教授・鈴木映二
提供する情報の利用目的及び利用方法	双極性障害当事者の実態調査を行うことにより、より当事者に寄り添った治療の構築を目指す資料とすることを目的に、特定非営利活動法人日本双極性障害団体連合会が行っている電話相談の記録簿を東北医科薬科大学精神科学教室（鈴木映二教授）に直接手渡しにて提供し、その情報を用いた後ろ向き調査を行う。 情報提供は対象期間の電話相談記録簿原本を貸し出すことで行われる。電話相談記録簿は研究責任者が電話相談の記録簿を鍵のかかるキャビネットにて適切に管理を行い、外部への提供は行わない。 研究期間は2023年3月31日までであり、研究終了後は速やかに返却される。
調査データ該当期間	西暦 2013年 4月 1日 ~ 西暦 2021年 3月 31日
提供する情報の項目	電話相談記録簿（情報：相談日時、相談者名、当事者との関係、職業、年齢、性別、住所、電話番号、会員区分、入会希望有無、主訴、相談内容、備考、相談担当者氏名）
研究に用いる情報の種類と利用する者の範囲	電話相談記録簿より、日付、在住都道府県、相談者の年齢、相談者の性別、患者本人との続柄、患者本人の年齢、患者本人の性別、会員区分、診断名、服薬状況、主訴を抽出し、匿名化してExcelデータにまとめる。Excelでデータ化する際にID番号を振り、以後その番号のみで管理する。氏名、住所、電話番号等の個人情報にあたるものはデータ化しない。データ化は精神科学教室の限られたスタッフ3名が行い、鈴木映二教授が監督する。それ以外の者は電話相談記録簿原本には触らない。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。 また、情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としま

	<p>せんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、研究対象者に不利益が生じることはありません。</p> <p>【照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】</p> <p>〒983-8512 仙台市宮城野区福室 1-12-1 TEL：022-259-1221、FAX：022-290-8964 担当者：東北医科薬科大学医学部 精神科学教室 鈴木 映二</p>
--	---

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：上記「お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第20の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合